

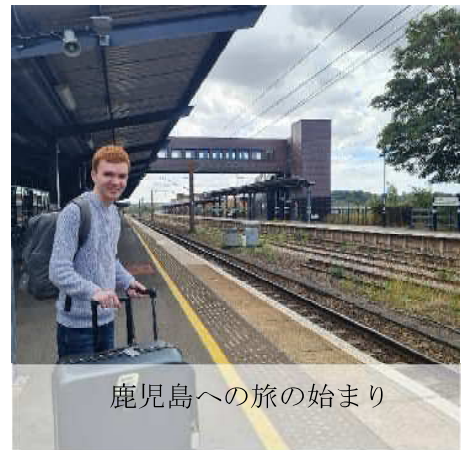
●鹿児島県の第一印象●

鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ（イギリス出身）

「あっ、鹿児島県ですよ！」

私が鹿児島県に赴任されることを初めて知った時は、今でも鮮明に思い出せます。国際交流員として、日本で赴任先を決める権利はありませんが、私は一緒に来日する妻とともに、九州を目指していました。鹿児島で働くことになると聞いて、大喜びでした。

4ヶ月後、期待感と緊張感を両方持ちながら、私はついに鹿児島に着陸しました。まだ2ヶ月しか経っていませんが、この場所は私にぴったりだともうすでに思っています。私の初めてのこのコラムでは、鹿児島の第一印象を紹介させていただきたいと思います。



鹿児島への旅の始まり



来鹿して4日目の桜島

私が飛行機を降りた瞬間、最初に気づいたことは鹿児島の天気でした。イギリスは、ほぼ毎日曇っています。鹿児島の晴天の景色は本当に綺麗で、私の気のせいかどうか分かりませんが、ここでは空がもっと青く、草や木の緑がもっと深く見える感じがします。

その青空を背景にする桜島も特に印象的で、火山活動状況によって景色が一日でも何回か変わります。10月1日に開かれた「火の島祭り」をきっかけに、やっとフェリーに乗って桜島へ行けました。桜島の足湯をゆっくり楽しんでから、屋台や太鼓ステージなどを含めて、日本の祭りの独特

な雰囲気は初めて体験できました。そして夜になって、打ち上げられた花火を見上げながら、私は感動せずにはいませんでした。

鹿児島の名物を食べる機会も今まで多々ありました。鹿児島に到着した初日に、奄美地域を代表する鶏飯を口にし、やはり良いところに来たなと改めて思いました。それから白くまや黒豚など、鹿児島の定番とも言える食べ物を食べてきました。私はお酒が好きなので、始良市で醸造されている様々な焼酎も試飲することができて良かったです。

もちろん、鹿児島に来てから大変なことが一つもなかったわけではありません。夏の蒸し暑さに慣れるには時間がかかりました。私は肌が非常に日焼けしやすいので、毎日日焼け止めをこまめに塗らないといけませんでした。そして、来鹿してからわずか3週間後、非常に強い台風14号を経験しました。最近、地震にも遭遇してしまいました。イギリスではこういう自然災害が起きないので、かなり怖かったです。

それにしても、今までの鹿児島での生活は本当に素晴らしい経験で、これからも楽しみにしています。鹿児島の絶景や美味しい名物などよりも、鹿児島の方々の優しい態度やおもてなしが印象に残っています。城山展望台で30分かけて鹿児島の歴史について丁寧に説明してくれた方、私のICカードの利用ミスを笑顔で許してくれた市電運転手さん、そして温かい歓迎を与えてくれた新しい同僚や友達に、心から感謝しております。

世界の人々に鹿児島の魅力を知ってもらうため、国際交流員として全力を尽くして頑張りたいです。これからも、どうぞよろしく願いいたします！



桜島で開かれた火の島祭りの花火